

代表質問の主な質疑をお伝えします!

今後の財政の見通し

や そう遠くない将来に収支の均衡が崩れるのではないかと。中長期的な財政面の対応や計画を求める。

区 基金及び起債の活用方針で、公共施設の更新や行政サービスの維持向上に備え、財源確保に努める。

障がい者の自立支援

や チャレンジ就労の人数枠が活用されていない。せつかくの枠を使い切り、就労機会の創出を求める。

区 チャレンジ就労の周知と理解の促進をし、就労希望者の増加と就労の拡大を図っていく。

子どもの貧困対策

や 全庁的で横断的な対応が図られることを要望する。今後の対応について伺う。

区 施策事業の推進については、定期的に検証、評価を行い、必要に応じて見直しや改善を図る。

中央図書館のオープン

や 「絵本のまち板橋」の魅力を強く伝えてほしい。情報発信をどのように行っていくのか、伺う。

教育 蔵書の充実とともに、世界100か国の絵本展示の工夫や、海外絵本の一部貸し出しを新たに始める。

児童相談所の開設

や 児童相談所についても組織横断的な取り組みによって、切れ目のない支援を実現してほしい。

区 子ども、家庭、地域の相互支援拠点を目指し、関係部署、機関と連携し一貫した支援に取り組む。

防犯カメラ維持の助成

や 地域が本当に求めている維持管理費への補助事業が実現することを求める。区の決意は。

区 議会や関係団体の皆様、都内の他の自治体などとともに今後も継続していかねばならない。

医療と介護の連携

や 医療と介護の現場における多職種での情報共有の仕組みづくりは急務と言える。対応強化を。

区 情報共有システムの整備に向け、個人情報保護といった隘路を克服すべく、検討を加速したい。

避難所の環境整備

や 洋式のマンホールトイレの配備を進め、非常用電源での安定的な電力供給体制の構築を求める。

区 更新の際に洋式化をする予定。電力不足の事態には、他から発電機を融通するなど柔軟に行う。

今回も元気な活動を大追跡! 田中やすのりおっかけ新聞

田中やすのり

田中やすのり区議会レポートVol.37 2019年4月発行
<http://www.tanaka-yasunori.jp>



動画
配信中!

議会!
トピック

2019 3/6 ON LIVE

自民党区議団を代表し 代表質問で登壇!

板橋区役所/本会議場

平成31年度に向けての区長からの施政方針と新年度予算案に対して質疑を行う

4年間の任期の集大成として、代表質問を行うことができ、充実した議会活動を行えました。予算委員会の審議も無事に終わり、新年度予算も成立。幹事長としての一年間の任務も遂行できたことにほっとしております。下記、代表質問した項目をお伝えします。*詳細は裏面をご覧ください



① 会派を代表し、約1時間に渡って、区政全般に関して幅広く質疑を展開する。



② 3月1日の区政報告会にて、緊急性が高い区の課題を紹介し、対応策を提言しました。要望が実った地域課題についても報告を行いました。

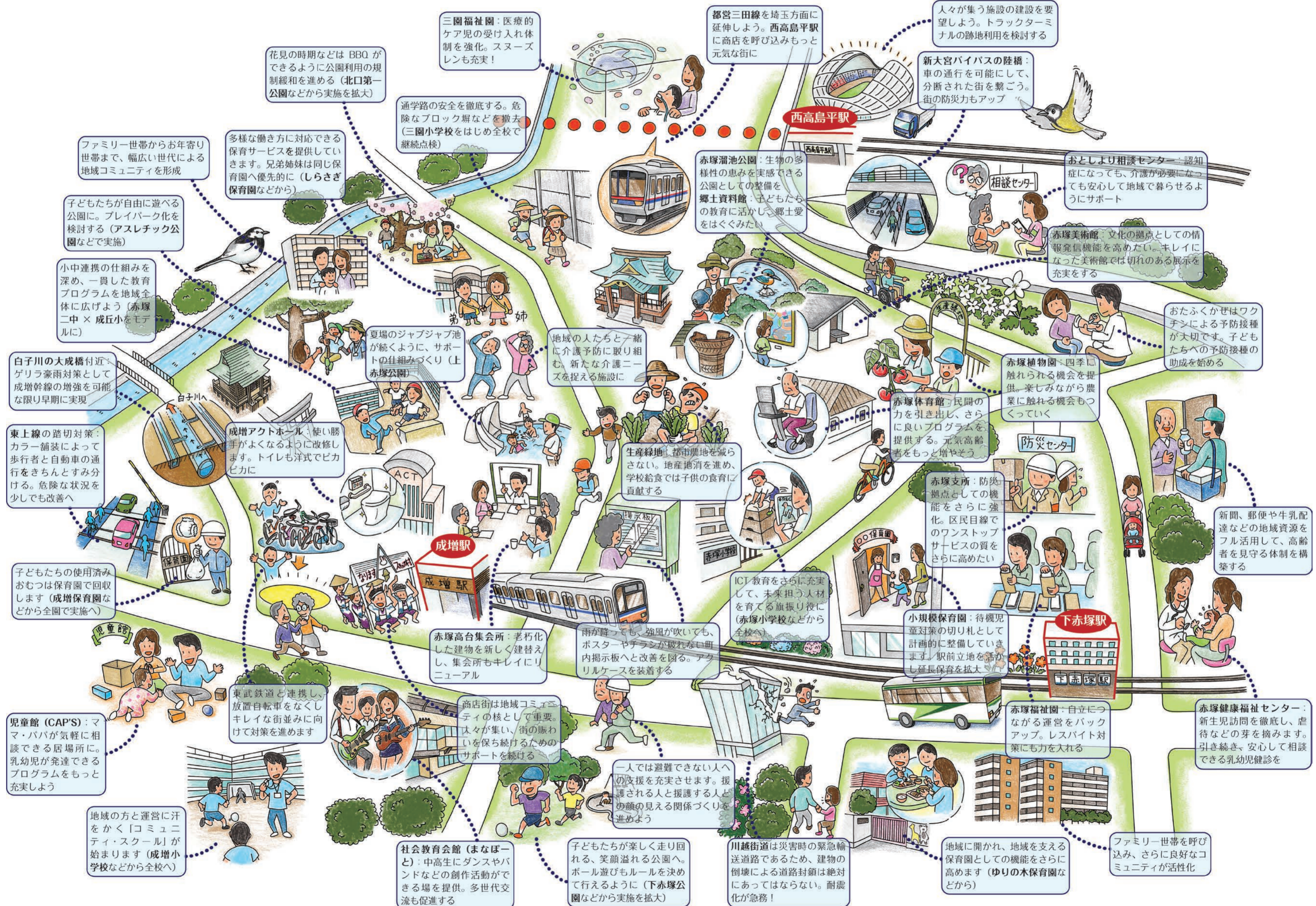
③ 平成31年度の予算要望に対する回答書を区長から受け取る。区立保育園でのおむつ回収などが実現の見込みとなりました。



- ① いたばしNo.1実現プラン2021について
- ② 新年度予算の編成方針と財政の見通しについて
- ③ 未来をはぐくむあたたかいまちについて
 - (1) 児童相談所について
 - (2) 待機児童対策について
 - (3) 板橋区版AIPについて
 - (4) 障がい者施策について
 - (5) 教育施策について
- ④ いきいきかがやく元気なまちについて
 - (1) 商業、産業、農業の振興について
 - (2) 防犯カメラの維持について
 - (3) 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて
- ⑤ 安心・安全で快適な緑のまちについて
 - (1) 街づくりについて
 - (2) 環境施策について
 - (3) 防災対策について
- ⑥ 計画を推進する区政運営について

みなさんのご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください。

暮らしやすく、ワクワクする板橋の街づくりを進めていきます!



三園福祉園：医療的ケア児の受け入れ体制を強化。スヌーズレンも充実!

都営三田線を埼玉方面に延伸しよう。西高島平駅に商店を呼び込みもっと元気の街に

人々が集う施設の建設を要望しよう。トラクタターミナルの跡地利用を検討する

新大宮バイパスの陸橋：車の通行を可能にして、分断された街を繋ごう。街の防災力もアップ

花見の時期などはBBQができるように公園利用の規制緩和を進める(北口第一公園などから実施を拡大)

通学路の安全を徹底する。危険なブロック塀などを撤去(三園小学校をはじめ全校で継続点検)

赤塚溜池公園：生物の多様性の恵みを実感できる公園としての整備を郷土資料館：子どもたちの教育に活かす。郷土愛をはぐくみたい

おとしより相談センター：認知症になっても、介護が必要になっても安心して地域で暮らせるようにサポート

ファミリー世帯からお年寄り世帯まで、幅広い世代による地域コミュニティを形成

多様な働き方に対応できる保育サービスを提供していきます。兄弟姉妹は同じ保育園へ優先的に(しらすぎ保育園などから)

子どもたちが自由に遊べる公園に。プレイパーク化を検討する(アスレチック公園などで実施)

小中連携の仕組みを深め、一貫した教育プログラムを地域全体に広げよう(赤塚二中×成丘小をモデルに)

赤塚美術館：文化の拠点としての情報発信機能を高めたい。キレイになった美術館では切れのある展示を充実させる

おたふくかせはワクチンによる予防接種が大切です。子どもたちへの予防接種の助成を始める

白子川の大成橋付近：ゲリラ豪雨対策として成増幹線の増強を可能な限り早期に実現

夏場のジャブジャブ池が続くように、サポートの仕組みづくり(上赤塚公園)

地域の人たちと一緒に介護予防に取り組む。新たな介護ニーズを捉える施設に

赤塚体育館：民間の力を引き出し、さらに良いプログラムを提供する。元気高齢者をもっと増やそう

赤塚植物園：四季に触れられる機会を提供。楽しみながら農業に触れる機会もつくっていく

東上線の踏切対策：カラー舗装によって歩行者と自動車の通行をきちんとすみ分ける。危険な状況を少しでも改善へ

成増アクトホール：使い勝手がよくなるように改修します。トイレも洋式でピカピカに

生産緑地：都市農地を減らさない。地産地消を進め、学校給食では子供の食育に貢献する

赤塚支所：防災拠点としての機能をさらに強化。区民目線でのワンストップサービスの質をさらに高めたい

防災センター

子どもたちの使用済みおもちゃは保育園で回収します(成増保育園などから全園で実施へ)

成増駅

ICT教育をさらに充実して、未来担う人材を育てる旗振り役に(赤塚小学校などから全校へ)

小規模保育園：待機児童対策の切り札として計画的に整備していきます。駅前立地を活かし延長保育を拡大

下赤塚駅

新聞、郵便や牛乳配達などの地域資源をフル活用して、高齢者を見守る体制を構築する

児童館

東武鉄道と連携し、放置自転車をなくしキレイな街並みに向けて対策を進めます

赤塚高台集会所：老朽化した建物を新しく建替えし、集会所もキレイにリニューアル

雨が降っても、強風が吹いても、ポスターやチラシが破れない冊内掲示板へと改善を図る。アクリルケースを装着する

児童館(CAPS)：ママ・パパが気軽に相談できる居場所に。乳幼児が発達できるプログラムをもっと充実しよう

商店街は地域コミュニティの核として重要。大々集い、街の賑わいを保ち続けるためのサポートを続ける

一人では避難できない人への支援を充実させます。援護される人と援護する人の顔の見える関係づくりを進めよう

赤塚福祉園：自立につながる運営をバックアップ。レスパイト対策にも力を入れる

赤塚健康福祉センター：新生児訪問を徹底し、虐待などの芽を摘みます。引き続き、安心して相談できる乳幼児健診を

地域の方と運営に汗をかく「コミュニティ・スクール」が始まります(成増小学校などから全校へ)

社会教育会館(まなぼと)：中高生にダンスやバンドなどの創作活動ができる場を提供。多世代交流も促進する

子どもたちが楽しく走り回れる。笑顔溢れる公園へ。ボール遊びもルールを決めて行えるように(下赤塚公園などから実施を拡大)

川越街道は災害時の緊急輸送道路であるため、建物の倒壊による道路封鎖は絶対にあってはならない。耐震化が急務!

地域に開かれ、地域を支える保育園としての機能をさらに高めたい(ゆりの木保育園などから)

ファミリー世帯を呼び込み、さらに良好なコミュニティが活性化